

槍穂!![編集する](#)

2009年07月24日 02:03 友人の友人まで公開

10 view



長年夢見てきた、槍穂縦走🏔️

おれにとって、穂高のイメージは「聖なる領域」。ついにここに足を踏み入れるか、と決断した2年前は、結局、台風で断念させられる。そこには人を寄せつけない神々しさ(!?)も兼ね備えているような。。。 (以下、妄想。。。)

(ちなみに2年前の記録はこれ。)

[http://mixi.jp/view\\_diary.pl?id=523282258&owner\\_id=6743162](http://mixi.jp/view_diary.pl?id=523282258&owner_id=6743162)

だからといって、このまま泣き寝入りできるわけもなく、今年こそはと行ってきました🍷

よし、忘れないうちに山行記録、いってみよう📝

-----

7月19日(日) 大雨&ガス&強風

【上高地～岳沢～奥穂～穂高岳山荘】

最悪の天気でした🌧️

(梅雨前線、活発アルネ。。。🌧️)

途中で男性 3 人組と合流し、一緒に歩くことになったが、聞けばなんと、彼らは北アルプスは初めてで、と  
りあえず穂高に登りたかった、とのこと。よくまあ、こんな日に、しかもこのルートを選びましたねえ...👁️👁️ た  
だ、普段はマウンテンバイクで山を走っているそうで、装備はしっかりしている人たちだった😊

雨も風もどんどん強くなり、前穂はカット。(いいんです、2 年前に登頂したから。) この辺りから靴はずぶ濡  
れで、足元が冷えてきた。ふと、低体温症!? と、最近発生した北海道大雪山系の山岳事故を思い出しつ  
つ。。。😓

それでも前進あるのみで、奥穂山頂にはなんとか辿り着いたものの、極めつけは、奥穂から山小屋への下  
り。下から息もできないほどの強風にあおられ、ザックカバーは吹き飛び、さらにはあられが容赦なく、パチ  
パチパンチ並み(→古い!?)に顔をたたきつけてくる🔥🧊

異常な精神に陥ってもおかしくないこんな時に、みんなペースを落とさずに歩けたのは、「あと 30 分下れば  
山小屋だ!」というメンタル(希望的観測!?)の維持に尽きる💡 もしかすると、こういうのを火事場のくそ力と  
いうのだろうか💡?

ようやく辿り着いた山小屋は、登山客で大盛況。(雨の日は小屋泊、と固く誓っているので(笑)、迷わず素  
泊まりの受付へ。)

連日大雨のため、必然的に連泊した登山客も多いとのことで、ここは奮発して個室に入る。6 畳の部屋を  
4 人で使用。これ、かなり快適。3 人組がいてくれてよかった😊 同じ日に同じルートを歩くというのは、きっ  
と何かの縁がある人達なんだろうし、ありがとうございました🌟🌟

今日の天気は終わったこととして、問題はメインとなる明日。夜の山岳天気予報では、穂高は「曇りまたは  
霧、一時晴れ」と出た。うーん、微妙。。。😓 はい、就寝✕

6:45 上高地

9:00-9:05 岳沢ヒュッテ (3 人組と合流)

9:45-9:50 休憩

10:40-10:45 休憩

12:00-12:05 紀美子平 (前穂はカット)

13:47-13:55 奥穂高岳

14:30 穂高岳山荘

-----  
7月20日(月) 晴れ

【穂高岳山荘～北穂高岳～南岳～槍ヶ岳】

とりあえず、3:30に起床してみると、東の空がだんだん明るくなってきた✨ 雲海の先には、常念岳がくっきり見える✨✨✨ (聞けば、昨夜は実に美しい星空🌌も見れたそうで(→おれは爆睡...))

この日は、昨日ずぶ濡れになったザックも、完全に乾くほど、晴れました!! ありがとう、山の神様!! 🙏

テンション上がってきた～👆

4:30にもなれば、登山客はどんどん出発していく。その後、御来光もばっちり拝み、

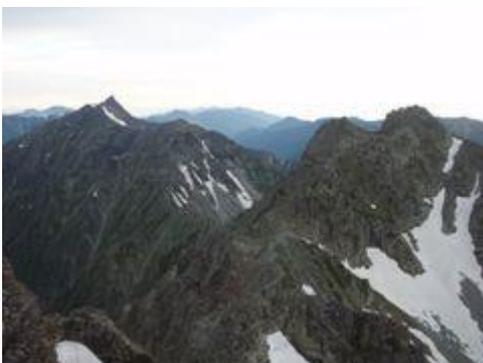


3人組と別れて、朝焼けの中、出発!! 🗺️👉



(朝焼けの奥穂)

その後、涸沢岳から本日のメインディッシュ、槍穂縦走ルートを眺める。



(左奥が槍ヶ岳、右側が北穂。)

眺望は最高。見るだけなら、よかったのかもしれないけど、ここを歩くのか、と思うと...😓 でもここまで来たら、行くしかない👊

ここからいきなりビビらされる💣 とにかく急降下の岩場、岩場、岩場。人工物(鎖やはしご)が設置されていたとしても、予想以上に腕力を使う。特に下りでは、足の乗せ場がわからないときに冷や汗もの😓 うう、あと10cm 足が長ければ...😓

急降下の後は、再び急斜面の岩場を登り、北穂高岳。



山頂は広く、その直下にある北穂高小屋は、それはもうオアシス💡💡 ここで満足して下山しちゃう!? いやいや、ここからが本番です😓

「飛驒泣き」と呼ばれる難所があるのだが、おれとしては、それよりもっと泣かされたのが、飛驒泣きのすぐそばにある直滑降の岩場。そこには長〜くて、太〜い鎖が垂れ下がっている。



(画像の中央が飛驒泣き。手前が飛驒泣きに通ずる急降下の岩場。)



(不気味な鎖が垂れている...)

とりあえず、鎖づたいに下りていくが、鎖が途切れたところで、次にどちらへ進めばよいかわからない。浮き石が多くて、足も乗らない。それでも降りようとすると、落石…。そんな落ちていく石なんか見たくない… 🤔

え————— 🤔

迷った挙句、左側にしがみつきやすそうな岩場を発見し、そこから少しずつ下りていく。そこに、ちょうど反対側からやってきた登山客がこちらを見ている。なおさらプレッシャー。。。 🤔

すると、その彼が助け舟をくれた!! 「そこ、右から回るんじゃないんですか!？」と指さす方向を見れば、目印のペンキがついている 🤔 正解は、先程の鎖場(=浮き石だらけであきらめたところ)をさらに直滑降するし

かなかったらしい...💡

でもそんな...

さっき落石してたじゃん...😓

とりあえず、その位置まで戻るのに一苦労したけど、正規のルートに復帰。そしてゆっくり下りて行き、登山客に挨拶を交わす。しかし、おれが冷や汗もので降りてきたこのルートを、その人はすたすたと登っていくのでありました😅

(やはりこのルート、反対側から歩くべきだったか...😓)

その先の「飛驒泣き」は、鎖場がしっかりしているので、難なくクリア。ただし、風が...。そう、西側(飛驒側)に回ると、日陰で、常に風が吹き荒れる。WILDWIND 様、今日だけは、ホント勘弁〜🙏



(飛驒泣きの飛驒側。)

この辺りから、何が何だかわからなくなる。目印のペンキを追って、進める場所を進むのみ。ごくたまにすれ違う対向者とは、「険しいですね」が合言葉。でも、お互い共通のルートを歩いているだけに、やけに話がはずんだりもしたな😓

その後、さらに難所と言われた「ナイフリッジ」も、



しゃがみながら歩いて越えれば、その先にある長谷川ピークに到着!!



ここを過ぎたら、一気に気力が落ちた。というか、どっと疲れが出てきた。南岳小屋手前の最後の垂直の登り(鎖とはしごあり)では、腕力が落ちていることも自覚する。でも、登るだけ、登るだけとそう自分に言い聞かせ。。。

岩場が終わったー!! 🍊

その後、南岳小屋で休憩するが、なぜだかあまり食欲も出ず、だんだんばて気味に…。しかし、最後のアップダウン、大喰岳山頂で、槍を見たとき、



なぜだが、すべてが解放された気分。本当にあとちょっとだ、と思える安心感もあり、ここで靴を脱いで 25 分休憩。青空の下、🍌も食べ、🎒も食べ、元気が出てくる👉 あー、今日の行程はほぼ終わったんだ～👌

そして最後に、槍ヶ岳へ登る。



11 年ぶりに、帰ってきたよ～✨

狭い山頂はガラガラで、30 分はいることができた👏 伝説の登山道、北鎌も一応のぞくが、ここは、もういいかな、なんて気になってたり🤔 (まあ、やっぱりいずれまた、かな💧)



(北鎌尾根。ここから登ってくる人もいるのだ。)



(西鎌尾根。縦走路はまだまだ延びている。)

この縦走路を眺めながら、感慨にふける。今回の山行で、北アルプスは、上高地～朝日岳の縦走路が  
ながった。こうなるまでに、10年以上かかったけど、よくやったよ、自分!! 🤔

(そして、この自己記録を北に延ばすならば、日本海へとつながる梅池新道。南へ延ばすならば、西穂(ジ  
ヤンルダム)を通らねば..... 💧)

まあ、とにかくにも、おつかれ自分 🍷🍷

5:00 穂高岳山荘

5:20 涸沢岳  
6:15 最低コル  
7:05 南峰  
7:20-7:40 北穂高岳  
8:40-8:50 飛騨泣きの手前で休憩  
9:25-9:30 A 沢コル  
9:55 長谷川ピーク  
10:35 最低コル  
10:40-10:45 休憩 (→ペースが落ちてくる)  
11:30-11:40 南岳山荘  
11:50 南岳  
12:30-12:40 最低コル (→ばてる。靴を脱いで休憩。)  
13:10 中岳  
13:55-14:15 大喰岳 (→昼食、山頂を独占)  
14:45 槍ヶ岳山荘  
  
15:15 槍ヶ岳山荘  
15:35-16:05 槍ヶ岳  
16:25 槍ヶ岳山荘

-----

山行後、ある人から、楽しかった？ 怖かった？ と聞かれた。

正直、どちらかといえば怖かった 😞

でも、長年の目標達成意識、プラス好奇心が勝ったのかもしれない 📈

なんだろう。

ジェットコースターと同じような気分。

結局、好奇心に突き動かされて乗ってみたいくなる。

しかし、ジェットコースターと山の最大の違いは、

山には、ジェットコースターのような「安全バー」がないこと。

自分の身は、自分で守らなくてはならない 📢

巨大な岩壁にへばりつく、小さな小さな人間。  
体力も、技術も、知識も、常に試されているんだろうな。。。

今回、ひとつの夢は達成したけど、  
まだまだ行ってみたい山はたくさんあるし、  
油断禁物でがんばろう!!



※フォトアルバムはこちらです 📷

[http://mixi.jp/view\\_album.pl?id=35188843&owner\\_id=6743162](http://mixi.jp/view_album.pl?id=35188843&owner_id=6743162)



《写真 1》 標高約 3000m にある、槍ヶ岳山荘

《写真 2/3》 その中にある、キッチン槍（一応カフェ!?)

今回の山行の裏テーマ。それは、

「日本一高い場所で焼きあがるパン🍞を食べること!!」

そう、槍ヶ岳山荘では、数年前から夏山期間限定で、なんとパンを焼いているのです!! これもある種、数年前からの目標だった!!!!

槍ヶ岳山荘に到着後(15:00)、すぐにパンのことを聞いてみるが、この日はすでに売り切れ😭 基本的には、毎朝 6 時頃焼き立てが食べられる、とのこと。。

あの一、明日は 5 時には出発する予定なんですけど... 🤔

-----

7月21日(月) 雨(→降ったり止んだり)

【槍ヶ岳山荘～槍沢～上高地】

翌朝は雨。。。

天気の様子を見つつ、もしかしたら、パンが少し早く焼きあがるかもしれないと期待しながら、小屋にとどまること30分。しかし、パンはやっぱり出てこない... ↓

でも、帰りのバスも気になるので、後ろ髪を引かれる思いで、小屋で仲良くなったK君と一緒に、5:30に出发👉

でも、本当にこのまま出発していいのか👉?

迷った挙句、K君には先に行ってもらい、おれは山小屋に戻る。だって、日本一高いカフェ(!?)で焼きあがるパンだもん👉👉

その後、山小屋で待つこと40分。

何やらいいにおいがしてきたと思ったら、出たー!!



(カウンターから出てきたばかりのパン!!)



(カフェ内で、このように並べられる。)

食べる時間はないので、すぐに袋に詰める。お買い上げしたのは、

🥐 ミニチョコクロワッサン (¥250)

🥐 ツイストバニラチョコレート (¥350)



(時間はなくても、一口だけかじる。あったか〜い!! 😊)

これをザックに詰めこみ、急いで小屋を出発。途中で K 君と合流し、その後の休憩で 2 人でさっそく食べる!!



(クロワッサンの中にチョコ入り。)

ちょっとつぶれかかっているけど...

うまいっ 🍪

山にはいつも、コンビニの菓子パンをたくさん持っていくけど、もうこのパンは訳が違う。なんでこんなに甘くて、温かくて、バターが香って... 🍪

と感動しつつ、現実はかなり時間をロスしているので、このまま調子を上げて歩き出す。かなりのピッチで歩いたので、上高地では無事に温泉に入ることができました 🙌

5:30 槍ヶ岳山荘を出発し、5 分後に戻る。

6:15 槍ヶ岳山荘、再出発

8:15-8:25 槍沢ロッジ (→ここでパンを食べる!!)

9:25-9:30 横尾

10:25-10:30 徳沢

11:10-11:15 明神

11:55 上高地



とにかく今回の山行は、日本一のパンを食べる、という目標も達成できて、今回の山行は、本当に満足です!!

